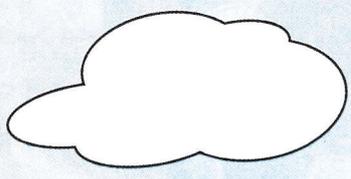
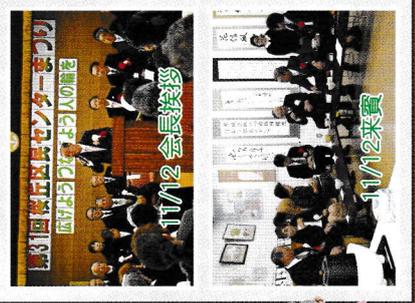


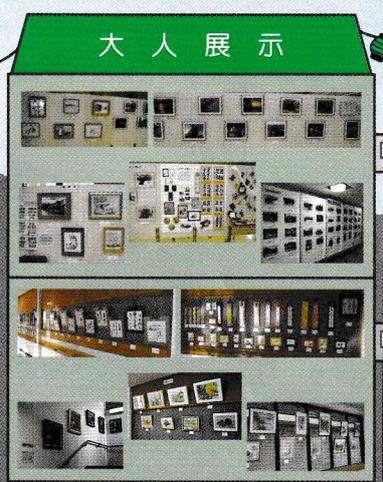
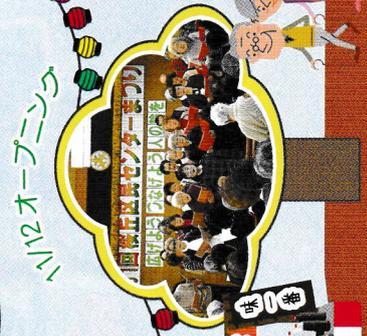
28年  
 後  
 期



11/12・13  
 センターまつり



# 54 さくらがおか くみんセンター ニュース



もっと知って

みんなの遊び場

温故知新

今回は子ども達が遊んでいる児童館・図書館がある桜丘区民センターの歴史を振り返ってみました。

これをきっかけに過去・現在・未来を考えてみよう！

平成二十九年三月一日  
日直 温故知新



笹原小学校

ココどこが知ってる？

どっかの空き地？

ヒントはここは大昔の桜丘の写真だよ！  
左上に笹原小学校があるよ

この空き地はもしかして区民センター？

そうだよ。1975年までは  
空き地だったんだ。  
次の絵を見てみよう

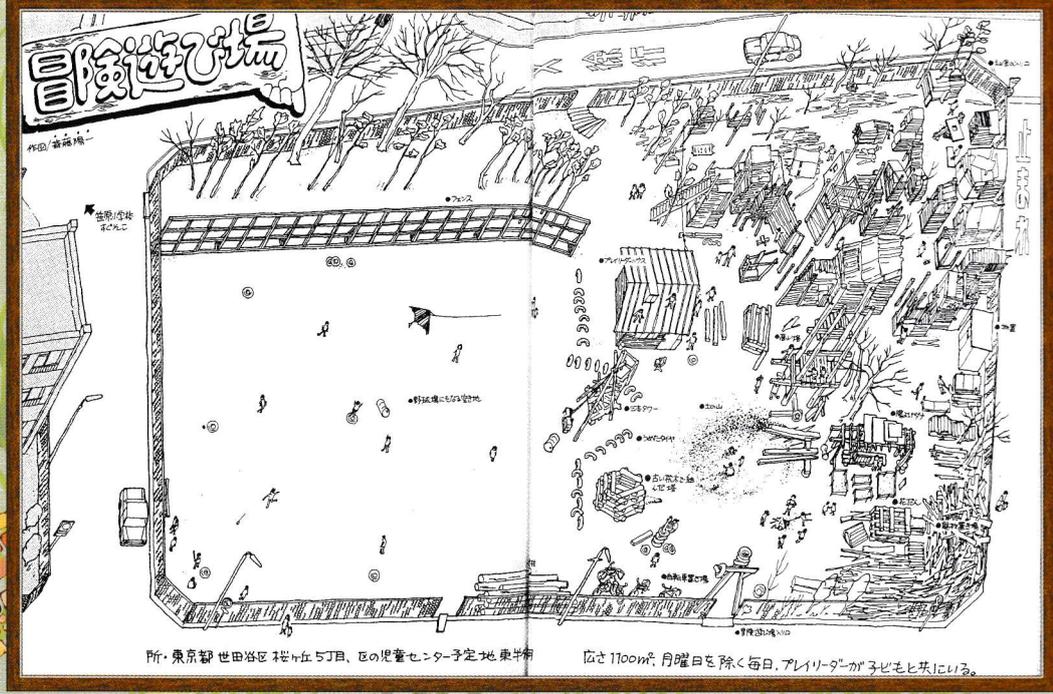
三角ベースをやったり  
ハコベを摘んで学校の  
ウサギにあげたりしたワ！

ナント桜  
社会の教

みんなで野球  
やってたんだよねエ！

うわ～  
楽しそう。  
アスレチック  
みたい！！

そうなんだ。  
1977年7月～  
1978年10月は  
冒険遊び場だったんだ  
下はその時の写真！



所・東京都世田谷区桜丘5丁目、区民センター予定地東半部 広さ1100㎡、月曜日を除く毎日、アレイターが子どもと共にいる。

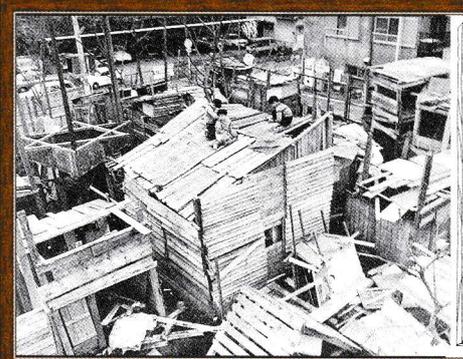
小学社会  
6



※2

おじさんは、昔ここで  
いっぱい遊んだな～！  
この木の家はおもしろ  
かったな～  
羽根木プレーパークは  
ここがモデルになって  
いるんだよ！

そして1984年区民センター誕生！



手づくりの遊び場  
冒険遊び場



この  
センタ  
の好意  
とがわ  
地を提  
代の皆  
れまし  
當だっ  
今回  
集した  
がセン

# げようつなげよう人の輪を 一世代を超えて

して見ると、皆が楽しく利用しているこの一にも小さな歴史があって、いろんな人々と熱意と努力に支えられて、現在があることがあります。今のセンターは、地元の方が土壌を、おじいちゃん、おばあちゃんの世さんが立ち上げてがんばって支え続けてくれた。何と昔は事務局も地域の人達の自主運営だったそうです。

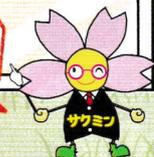
センターの運営委員としてニュースを編集するお父さんお母さんの中には、おばあちゃんセンターの運営委員だった人もいます。そして



おじいちゃん、おばあちゃんの立ち上げてくれたセンターで、子どもたちが、児童館や土の広場で元気に遊びまわり、図書館で読書や勉強に動いているのです。これは素晴らしいことだと思います。これからも、自分たちのセンターとして、地域の人達の居間のような寛げる回らんの場所として、いろいろ企画をたてたり、利用の仕方を考えていけたらいいと思います。(2017年2月撮影)



1984年の写真とくらべてみよう!



区民センターは2005年の教科書で取り上げられたんだ。



ワー!木がこんなに大きくなって

全国各地の小学生がこの教科書を使って勉強したよ。

教科書センター用見本

区民センター祭りの様子

桜丘区民センター(東京都世田谷区)

子ども祭りの様子

教育出版

※3

1 人々の願いとまちづくり

区民センターは、どのように利用されているのだろうか。

2 区民センターをたずねて わたしたちの学校の近くに、桜丘区民センターがあります。区民センターの中には、図書館や児童館もあり、わたしたちもよく利用します。毎年秋に行われる区民センター祭りは、大勢の人でにぎわいます。わたしたちは、区民センターが地域の人々の暮らしとどのようにつながっているのか、調べてみることにしました。

# 今とこれからの子どもの遊びについて聞いてみました。



桜丘中学校 校長 西郷 孝彦先生

学校、部活、塾と本当に忙しい中学生には遊ぶ暇はあまりないのではないのでしょうか。

私が中学生の時も、確かに部活や家の手伝い、塾と忙しいのは同じですが、家の建っていない原っぱのような空き地があり、学校の運動場にも自由に入って遊べました。そこで鬼ごっこをしたりかくれんぼをしたり、キャッチボールをしたりしていました。

遊びの中では、乱暴だったり、足が不自由だったり、理解が遅い子たちもルールを変えたりハンデをつけたりしながら、何とか仲間に入れてあげるといった暗黙の理解があったように思います。昔は、遊びの中で覚えていた人との付き合い方を、今では学校で教えなければならない時代になっています。

笹原小新BOP 事務局長 小澤利喜男

新BOPで、「校庭に出たい人」の呼びかけに80%以上の子が「はい」と元気良く返事をし、帽子を被って整列します。このことから子ども達が、外遊び・異学年集団との関わり等を欲していると考えられます。遊びの時間・場所・仲間が減少していると言われる昨今、児童館・学校・新BOPでの遊びの重要性を感じます。

先日、笹原小学校校庭で「どんどこ焼き」が行われました。同時に消火訓練も行われ、多くの地域の方々と子ども達がこの体験を楽しんでいました。この行事に参加して、子ども達に何が必要か感じさせられました。

新BOPでは、今後も遊びや様々な体験を通して、子ども達により良い影響を与えられるよう努力していきたいと思っています。

桜丘小新BOP 事務局長 彦田 勇

子どもにとって、子ども同士のダイナミックなあそびは、大人になっていくために必要な要素を含んだ非常に大事なものであります。子どもは、「あそび」を通して成長して行きます。湯川れい子さんが区長との新春対談で、「子どもの頃は、子どもたちの遊ぶ声がしょっちゅう聞こえていました。子どもの笑い声とか遊ぶ声が聞こえない所って未来がないような気がする」とおっしゃっています。

緑豊かであった頃とは違い、現在の世田谷区は空き地が少なくなりました。公園で遊ぶ子どもの声や、保育園児の声がうるさいと住民から苦情がくるという話を聞くとう本当に悲しくなります。地域の子どもの地域の大人が温かい眼差しで見守っていく豊かな地域であって欲しいと願っています。新BOPもその一翼を担っていききたいと思います。

桜丘児童館 館長 桑原 雅浩

児童館は「遊び」の場として、30数年地域に支えられ活動しています。

「遊び」には必ずルールがあります。児童館にもみんなが楽しく安全に過ごせるよう「ルール」があります。児童館では、遊びの提供のみならず、ルールの指導徹底もおこなっています。子どもも大人もこのルールを守っていくことがいつまでも児童館が居心地の良い「居場所」になると思っています。

児童館のルールを作っているのは、利用者の皆さんかもしれませんね。



## 建設のための会議に参加した人の話

センターを作るにあたっては子どもたちを安心して遊ばせることができる場所が欲しい、という声がたくさんありました。最初の計画では、敷地一杯に建物立つ予定になっていたのですが、「子どもの遊び場には土の広場を残したい」という住民の願いがあって、今の広場を作ることができました。たくさん子ども達が遊んでいるのを見て本当に良かったと思います。

※1 国土地理院空中写真、1975年、桜丘5丁目付近。  
 ※2 冒険遊び場がやってきた(羽根木プレーパークの会編、晶文社、1987年)、32-33頁。  
 ※3 小学6年社会(下)(教育出版、平成17年出版、平成17年度から平成22年度にかけて世田谷区他全国各地で使用)。



居座の ご参加 ご来場 お待ち しています。
3/18 音楽のこせい コンサート
3/11 卓球のこせい
3/1 サクミン リクシヨコ体操
今後の予定



◆編集後記◆

桜丘区民センターニュース編集に携わり、センターが教科書に取り上げられたこと、この地域の方々の愛と願いによって建てられたこと、初めて知ることたくさんあり、感動しました。  
この思いが世代を超えて引き継がれ、花咲く事を願っています。

笹原小学校 校外委員：武藤 薫・廣岡 晃子・丹野 直人  
桜丘中学校 校外連携委員：土谷 隆・池本 麻紀・岩淵 陽子・霞末 明子  
菊田 久美・高城 邦子・中村今日子・塩原 由紀  
富田 和美・田中 裕美  
桜丘小学校 校外委員：野村 亜紀・諸藤 涼子 (53号)

桜丘区民センター 企画委員：大高真佐子・杉本 洋子・熊谷 典子

桜丘区民センターニュース 第54号 平成29年2月28日  
桜丘区民センター運営協議会 〒156-0054 世田谷区桜丘5-14-1 tel.3439-0541



# 11/13 HIPHOP

